

令和4年度あまみ地域づくり褒賞表彰者功績概要

【褒賞】 4個人・3団体

(順不同, 敬称略)

No.	被表彰者	所在地	功績概要
1	たけもと はるき 武元 晴輝	徳之島町	令和4年10月に本県で開催された全国和牛能力共進会(通称:和牛オリンピック)の第6区において、金メダルを獲得した「亀吉」号を生産、6ヶ月齢まで育成されました。 今回の受賞は、これまでの改良の取組や培われた子牛育成技術によるところが大きく、奄美群島における史上初の快挙であり、県内外に広く大島産子牛の商品性の高さを示し、家畜市場全体の評価を高めるとともに、肉用牛繁殖経営者の生産意欲向上にも寄与されています。
2	みやで ひろし 宮出 博史	伊仙町	珈琲農園を営みながら、若手生産農家の育成や中学生向けのコーヒーの苗の植え付け体験の実施など地域に密着した活動に取り組まれるとともに、島外からボランティアを受け入れ、農業を通じた人材育成の場を提供されています。 また、コーヒーの木に着目し、これまで捨てられていた部分に価値を見出し、新商品を開発することで、生産者の増収や雇用機会の増加につながる取組を行っており、地域産業の振興に貢献されています。
3	こうやま ただしげ 幸山 忠重	伊仙町	長年にわたり、町内の各小中学校に門松や手作り竹馬の寄贈をされるなど献身的な活動を行われるとともに、集落の伝統芸能の継承や竹細工を通じた昔遊びを子供たちに伝える活動を通して、青少年健全育成に貢献されています。
4	はせがわ ちよこ 長谷川 千代子	知名町	平成11年に、沖永良部芭蕉布工房を設立されて以来、長年にわたり、伝統工芸品である芭蕉布の普及や後進の育成に取り組まれています。 県内外の工芸品コンクール等で多数受賞される一方、芭蕉布製品の寄贈や芭蕉布づくり体験会の開催など、沖永良部の特産品・伝統工芸品である芭蕉布を次世代へ引き継ぐ取組を行っており、地域産業の振興に大きく貢献されています。
5	若葉会	龍郷町	平成25年にサロン活動「どうくさ会」の運営を開始し、月1回のサロン活動では、体操、レクリエーション、茶話会、食事会、美化活動などを行い、高齢者の介護予防・健康づくりに貢献されています。 また、花壇の美化活動や子ども達との餅つき大会など、子どもから高齢者まで、地域の方々が集い交流を深める場を提供されており、地域活性化に貢献されています。
6	瀬留どうくさ会	龍郷町	平成24年にサロン活動「どうくさ会」の運営を開始し、月2回高齢者向けのサロン活動では、レクリエーション、介護予防体操、茶話会などを行われています。 高齢者の仲間・居場所づくりや介護予防・健康づくりに継続して取り組まれており、地域活性化に貢献されています。
7	西伊仙東棒踊り保存会	伊仙町	平成27年に保存会を設立し、令和元年度に町文化財に指定された約100年続く棒踊りの伝統文化継承活動に取り組まれています。子どもの誕生祝いや成人祝い、新築棟上げ式等で舞を披露されるとともに、担い手の育成を行うなど、地域生活に根ざした伝統文化の継承に大きく貢献されています。